

## 複合技術のコラボレーションで WebGIS業界第3位に

コボプランの創業は1994年。「その前年に勤務していたソフトウェア会社をスピンアウトして、数社の企業を相手に商品開発のコンサルティングの仕事をしていました。その中で出会ったGISに大きな可能性を感じたので、他の仕事を整理してGISソリューションの提供に特化した会社を創業したのです」(株式会社コボプラン 代表取締役社長 安井穂氏)。

GISとは、地図上にデータベースで管理したさまざまな情報を重ね合わせて表示し、分析するシステム。GISに着目したのは、「地図」のインフラとしての間口の広さに魅力を感じたからだ。地図には、顧客管理、施設管理、映像などと組み合わせられたさまざまな用途があり、官公庁、民間企業、コンシューマーなど幅広い市場がある。Web上でGISを利用する「WebGIS」に取り組み始めたのは1998年からである。「WebGISには3つの技術要素があります。地図を表示するためのグラフィック、データベース、そしてネットワークです。これらすべてにプロフェッショナルとして精通している会社はそうはありません。つまり、当社の理念であり得意分野である「コラボレート」がまさに必要な分野なのです」(安井氏)。

コボプランは自社製品であるWebGISエンジン「マプレット」をベースに、金融業向けエリアマーケティングシステム、上下水道管理システムなどのさまざまなアプリケーションを開発している。約2000団体が利用しており、日本のWebGIS市場のおよそ10%、業界第3位のシェアを占めている。



株式会社コボプラン  
代表取締役社長 安井 穂氏

かからないという点も高く評価しています」(安井氏)。

## 業務ノウハウと技術ノウハウの 協業が新たな市場を創る

「マプレットや地図組み込み型WebGISは、あくまでもエンジンであり、その上に付加価値をつけるのはメーカーとソリューションベンダー」と安井氏は語る。民間企業にGISが普及するには、その費用対効果が明確になる必要がある。コボプランが手がけた案件でも、銀行のエリアマーケティングシステムへの応用などの実績はあるが、「使う人が増えれば、提供する我々が思いもつかなかったような応用を考えつく人がきつと出てくるはず」(安井氏)と期待を寄せる。

今後、コボプランでは、地図組み込み型WebGISの販売とともに、マプレットをベースにしたアプリケーション

今回のWEDGEで紹介する株式会社コボプランは、GIS(地理情報システム)分野に特化したソリューションプロバイダー。

「複数の企業が得意分野を持ち寄って『コラボレート』(協業)するスタイルこそが新たな価値を生む」という理念のもと、WebGISエンジン「Maplet(マプレット)」を核とする多くの製品群を生み出してきた。

そして今、コボプランは、インクリメントP、アイエニウェア・ソリューションズとの新たなコラボレーションにより、WebGIS市場にブレイクスルーをもたらす新製品を提供する。

# コラボレーションで 実現した 地図組み込み型GISで 新たな市場を創造

## 株式会社コボプラン

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-9-26船場島ビル7F  
TEL.06-4964-2300 FAX.06-4964-2301  
www.coboplans.co.jp

2004年8月に発売される「地図組み込み型WebGIS」は、2500分の1地図(家型、道幅がわかるレベルの精度)を製品に組み込んだWebGISエンジンである。サーバー・ライセンスが全国版で数百万円から、従来の同等製品の10分の1程度のコストで利用が可能であり、WebGIS市場の常識を覆す新製品として注目を集めている。

## 民間企業への導入で GIS市場は飛躍的に広がる

現在、日本のGIS市場のユーザーの9割は官公庁だ。「民間企業に導入が広がらなかった理由は、地図データの価格の高さにあります」(安井氏)。1995年の阪神淡路大震災による広

開発や、GISを応用したASPサービスの提供にも力を入れていく。地図を利用した距離計算による自動車通勤者のための通勤シミュレーションシステムや、携帯の位置情報サービスを応用した社員の位置情報管理システムなど、さまざまなASPサービスの展開が考えられる。

「例えば、位置情報管理システムなら、その上に利用者がアプリケーションをのせることで、仕出し弁当の効率的な配送システムや、サービスマンの効率的な派遣を可能にするシステムなど、さまざまな業務が展開できるはず。本当に役に立つシステムは、業務のノウハウを持った人と、ソフトのノウハウを兼ね備えている」と安井氏は語る。

「例えば、位置情報管理システムなら、その上に利用者がアプリケーションをのせることで、仕出し弁当の効率的な配送システムや、サービスマンの効率的な派遣を可能にするシステムなど、さまざまな業務が展開できるはず。本当に役に立つシステムは、業務のノウハウを持った人と、ソフトのノウハウを兼ね備えている」と安井氏は語る。昨今、BIGLOBEと協力して試験的に配信した動画サービスでは、サーバーがダウンするほどのアクセスを集めました。タウン情報を提供する会社とコラボレートすると、GIS広告市場が生まれるかもしれない(安井氏)。WebGISを軸に、さまざまな企業とのコラボレーションで新たな市場を創造していくコボプラン。アイエニウェアは、RDBMS技術を提供するパートナーとして、コボプランを支えている。

### ■ WebGISのベースとなるパッケージ

#### 『Maplet(マプレット)』

GISは、地図を表示するエンジンの上に施設管理、顧客管理などの分析統計管理機能を構築するシステム。マプレットはそのエンジンにあたるもので、Webサーバーに格納した地図データをインターネット/イントラネット環境でクライアントに配信、クライアントで地図を閲覧、その地図にリンクされている情報を表示できる。また、単に地図を表示するだけでなく、クライアントの要望に合わせて地図を加工、編集、作図したり、リンクされている情報に合わせた色替え表示などの多彩な表現を可能にする。マプレットはこうしたシステムの開発ツールとして販売されており、現在、数百のサーバー、数万にのぼるクライアントで、各ユーザーのGISアプリケーションが運用されている。

パッケージのライセンスは、サーバー・ライセンスとクライアント・ライセンスに分けられ、サーバーごとに販売されている。特にクライアント・ライセンスにおいては、ライ



センスフリーとしているため、サーバーにアクセスするすべてのクライアントでGISが可能となり、今使用している各企業のWebベースのデータベースに連携させて、そのシステムを容易にGISに変えることができる。

### ■ 地図組み込み型WebGIS

GISは、WebGISエンジンがいくら優れていても、RDBMSや地図データがなければ成り立たない。「地図組み込み型WebGIS」は、コボプランとデジタル地図編集のインクリメントP、RDBMSのアイエニウェアのコラボレーションで成立した。クライアントは100同時アクセス・ライセンス。このライセンス形態であれば、企業間でWebGISを利用する際のストレスはまずない。

価格においてもWebGISエンジンのマプレット、RDBMSのSQL Anywhere、さらに全国地図データをバンドルして580万円に抑えている。この製品の発売を機に、GISの市場を一気に民間企業にまで広げる狙いだ。

民間企業では、施設管理や顧客管理、携帯電話を使用した移動体(位置)管理などにおいて、WebGISを有効利用でき、ビジネスの費用対効果は100%期待できる。

範囲なライブラインの断絶で、自治体にとつてのGISの有効性が広く認知され、省庁連絡会議で国土データのデジタル化の必要性が認められた。その後、国土地理院主導で地図の整備事業が進められており、自治体にも補助金が出ている。もともと、自治体は固定資産税管理のため、精密な地図を持つ

ていた。このデータを有効活用するためのシステムとして、GISが導入されるのは必然といってもよい流れである。しかし、自治体だけをターゲットにしていたのでは、遠からず市場は頭打ちになってしまう。「自治体の数は全国で3200しかないのです。これに対して、民間企業は数十万社。大手銀行などでは、数年前に億単位の費用を投じて地図とGISを整備しているところもありますが、こんな投資ができる会社はごくわずかです。数千万円、数百万円の規模なら、GISの導入を検討する企業は飛躍的に増えるはず」(安井氏)。

## GISの世界に価格破壊をもたらすソリューションを実現

GISの普及を阻む「地図の価格」の壁を乗り越えるためにコボプランが開発したのが、この8月に発売される新製品「地図組み込み型WebGIS」である。デジタル地図の制作・販売を行うインクリメントPとのコラボレーションにより、従来のWebGISの10分の1以下の価格でのシステム導入を可能にした。この革新的な新製品を構成するRDBMSとして選ばれたのが、アイエニウェアの「SQL Anywhere Studio」(以下SAS)である。

もともとSASはマプレットの一部分で採用されていたが、今回の新製品開発にあたり、サーバーの属性DBとしても全面的に採用を決めた。「信頼性が高く、省リソースで動作する点をかねてから評価していました。新バージョンのSASはさらに、パフォーマンスが強化され、サーバー用のRDBMSとして全く問題なく動作するようになりました。管理の手間もほとんど

モバイル、ワイヤレスの  
次のキーワードは・・・  
「Unwired」

# アンワイヤード Unwiredの 大波にのれ

失敗しない次世代モバイルシステムの構築法を伝授

- Unwiredシステムを知らずして
- これからのIT投資はあり得ない
- 顧客重視、業務効率の向上を掲げる
- 企業を成功に導く一冊



早川 典之 著  
(アイエニウェア・ソリューションズ株式会社 代表取締役社長)

- 定 価 1,470円(税込)
- 発 行 株式会社リックテレコム
- ISBN 4-89797-599-9

iAnywhere  
SOLUTIONS  
A SYBASE COMPANY

アイエニウェア・ソリューションズ株式会社

www.ianywhere.jp

〒102-0094  
東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル13階  
TEL. 03-5210-6380  
FAX. 03-5214-0971

©2004 iAnywhere Solutions, Inc. All rights reserved.

※iAnywhere, iAnywhere Solutions, SQL Anywhere, Anywhere Studioは、米国法人 Sybase Inc. または米国法人 iAnywhere Solutions, Inc. の米国または日本における商標または登録商標です。掲載された他の企業名、商品名は、各社の登録商標または商標です。